

市長会見の項目（概要）

と き：平成30年5月24日（木） 14：00～

ところ：市政記者室

■ 文楽振興事業「夏休み文楽特別公演『親子劇場』」優待事業を実施します

<担当：経済戦略局文化部文化課 電話：06-6469-5170>

【フリップあり】

- ◆大阪で生まれた「人形浄瑠璃文楽」は、我が国を代表する伝統芸能で、「ユネスコ無形文化遺産」として世界的にも高い評価を受けており、訪日外国人の大阪への誘客や2025年の万博誘致をめざす本市にとって、都市魅力をPRする貴重な財産だと思っている。
- ◆しかしながら、多くの人にとって、“文楽”という言葉は知っていても、実際に見たことのある人が少ないのではないかと思う。まだ多くの方が文楽に親しんでいらっしゃらないのではないかと思っている。
- ◆今年の3月30日に五代目吉田玉助さんとお会いしたときに、「これまで文楽に馴染みのなかった市民の皆さんはもとより、国内外の方にも気軽に文楽に触れていただく事業等を実施していきたい。」とお話ししたところである。
- ◆そこで、本市では、文楽を子どもにも分かりやすく、大人にとっても面白いという体験をしていただくために、国立文楽劇場で開催される「夏休み文楽特別公演『親子劇場』」を優待価格で鑑賞できる事業を今年も行う。
- ◆今年の演目は、昭和を代表する劇作家・木下順二さん作の、日本の昔話をもとにした文楽では珍しい口語体の作品「瓜子姫とあまんじゃく」と、人が鬼に変身する人形の仕掛けや迫力のある演出がみどころの作品「増補大江山 ぞうほおおえやま 戻り橋の段 もどりばし だん」となっている。これらの演目を通じて、多くの大阪の子どもたちに、若い時に本物の“文楽”というものはこういうものなのだということを知ってもらいたい。
- ◆また、今年の公演は、文楽の上演だけでなく、「文楽ってなあに？」と題し、より文楽について理解を深めていただけるような解説付きの内容となっている。文楽に馴染みの無い方にもわかりやすく、親子で楽しめる公演になっているので、ぜひ劇場にお越しいただきたい。

◆夏休み文楽特別公演『親子劇場』

場所：国立文楽劇場

期間：平成30年7月21日（土曜日）から8月7日（火曜日）まで

※7月27日（金曜日）、8月4日（土曜日）は除く

時間：午前11時開演、午後1時15分終演（予定）

対象：市内在住・在学の中学生以下のこどもを含むグループ（最大6名まで）

定員：2,800名（先着順）

料金（優待価格）：大人1名、こども1名のペアで2,800円

ペア以外の同行者は、大人2,300円、学生1,150円、

こども（18歳以下）900円

【次頁あり】

(参考)

- ・「親子劇場」の通常料金（劇場での販売料金）
大人1名、こども1名のペア 合計5,400円
- ・ペア以外の通常料金（劇場での販売料金）
大人4,700円、学生2,400円、こども（18歳以下）1,900円

◆申込方法は、はがき、または大阪市電子申請・オンラインアンケートシステムで申し込んでいただけようになっている。

当選の方には、はがきで優待券が届くので、劇場でチケットを受け取っていただきたい。詳しくは、大阪市ホームページをご覧くださいか、大阪市総合コールセンターに問い合わせさせていただきます。

◆こどもたちが家族や友人と一緒に鑑賞し、感想などを話し合っただけならば、一生の思い出に残る。夏休みの一日、ぜひ劇場で鑑賞いただきたい。

◆また、今秋には、初心者にも親しみやすい文楽公演として、中央公会堂を会場に「中之島文楽」を開催する。詳細が決まれば、改めて案内させていただきます。

◆最後に、この文楽を支える仕組みについてのふるさと納税について紹介する。

大阪市では「なにわの芸術応援募金」という、文化の団体に直接、市民の方が応援できる寄付の仕組みをつくっている。

この募金は、文楽をはじめとする伝統芸能や音楽などの分野で登録された24団体の中から寄付する団体を選んで、ご寄付いただくものである。いただいた寄附金は、団体への助成金として役立てていく。

◆平成27年5月に募集を開始し、平成30年5月16日現在、寄付金総額で約4,989万円となっている。市民の皆さまの様々な文化の分野において、直接、自分が育てたい、大阪の文化を応援したいという熱い思いに、改めて深く感謝申しあげる。

◆大阪市では、様々な文化振興事業や寄附制度を通じて、芸術文化の力で都市魅力を高め、大阪のまちを元気にしていきたいと考えているので、引き続き、皆さんの協力をお願いしたい。